

令和7年度 学校だより

かけはし

匝瑳市立八日市場小学校

10月号

No.6

<https://sosa-yokaichiba-es.net/index.html>

※HPIには、かけはしカラー版を掲載中です



後期を迎えて

後期が始まり2週間が経ちました。後期の始め、校内放送で全校の子供たちに、後期は進級に向けた準備をする期間でもあることを伝えました。残りの約6か月でそれぞれの学年がひとつ上の学年に上がり、特に6年生は中学生になります。そこで、進級後に困らないようにするためにもそれぞれの学年に応じて自分でできることは自分で行うこと、特に6年生は自分のことに加えて周りの人のために進んで行動することを提案しました。毎日の生活の中で、子供たちが家族の方や先生の手を借りずに自分のことは自分でできるようになることを願っています。

校内放送の話との関連はわかりませんが、最近、登校した6年生や5年生の有志の子供たちが、朝の会が始まるまでの時間に敷地内の落ち葉を掃いてくれています。朝から気持ちの良い挨拶とともに、下級生のために学校をきれいにしてくれている子供たちを見るとすがすがしい気持ちになります。

経験を大切に！

10月に入り、いろいろな学年で校外学習に行くことが多くなりました。子供たちは集団で行動する際のマナーに加え、挨拶や礼儀などを再確認して、当日を迎えています。活動の際には、ルールを守り、友達に声をかけて、楽しく有意義な校外学習になるように協力をしてくれています。笑顔で張り切って様々な活動をする子供たちの姿から頼もしさも感じます。子供たちの学びの多くは生活の中での経験から受ける影響が大きいようです。買い物や公共交通機関の利用など、御家庭のスタイルに合わせてできるだけ多くの経験ができるように工夫をしてあげることが大切だと感じています。

マラソン大会に向けて

11月26日(水)にマラソン大会が行われます。この時期、学校ではマラソン大会に向けて、マラソン練習を実施しています。ぜひ、練習の様子を御家庭でも聞いていただき、励ましやお褒めの言葉をいただくと嬉しいです。体操服等、洗濯の機会が増えることと思いますが、引き続き御協力をお願いいたします。マラソンの得意、不得意にかかわらず全ての子供たちがそれぞれの成長を感じられる行事にしたいと思います。



〔まめ知識〕

学校ではこの時期、子供たちが様々な活動に取り組んでいます。子供たちが安心して活動に取り組むためには御家庭の協力が欠かせません。『学校から発信する家庭教育支援プログラム(千葉県教育委員会)』の資料を裏面に載せましたので、興味のある方はご覧ください。

2. 心の成長



家庭で、地域で、学校で、人との「つながり」を大切にしましょう！

地域での奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続すると、社会の一員として自覚が芽生えていきます。家庭・学校・地域で人とのつながりを大切にし、豊かな心を育みましょう。

家庭で、「家族の心のつながり」を大切にしていますか？

- ★ あいさつの実践からはじめ、親子での対話の場を設けていきましょう。まず、子どもの話に耳を傾けることから始めましょう。努力を認めてくれる、困ったときは相談できると感じたとき、親子の真剣な対話が生まれます。
- ★ 地域の行事や体験活動などに積極的に参加し、共通の話題を持ちましょう。
- ★ 家族みんなで過ごす楽しさ、愛情による絆を感じると、自分を大切にし、他人を思いやる心が育ちます。
- ★ 子どもにとって「お手伝い」は“家族の一員として自分が期待されている”ということを感じ取る良い機会です。また、それを継続することで子どもの責任感が育ちます。
- ★ 自然体験活動をとおして豊かな感性が育ちます。

「地域とのつながり」を大切にしていますか？

まず、子どもと関わる大人同士が「つながり」を持つことが重要です。

- ★ 地域の行事に親子で参加する機会を設け、人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ちます。
- ★ 人との交流で認められ自己存在感に気づき、人間関係づくりができます。



子どもの言葉遣いは気になりますか？

- ◆ 大人から子どもへ心を育む場となるために、豊かな会話がなされることが大切です。まず、家庭で正しい言葉遣いを伝えましょう。
- ◆ 子どもの言葉遣いに注意をするべき立場のものとして、親の役割が強く期待されます。
- ◆ あいさつは人との交流の基本、まず、あいさつのできる子を育てましょう。人と人とのコミュニケーションをする中で、正しい言葉遣いが身につきます。

家庭で家族のコミュニケーションづくりを大切にしていますか？

家庭で子どもと話していますか。「この頃、変わったことはない？」と語りかけてみましょう。大人が子どもの話を真剣に聞き、心をくみ取り、聞き手のお手本を示しましょう。人は言葉を使って自分の気持ちを相手に伝え、相手の心もくみ取ります。

まず、大人がお手本を示し、丁寧な言葉を使いましょう。

